

600°C以上対応、高温ターゲット用変位センサ

青色波長技術

Philtecは超高温ターゲットの変位測定用に青色光センサ (Blue Light Sensors) を導入します。

金属は600°C 以上に熱されると、下記のグラフに示される赤色波長スペクトルの光エネルギーを放射します。赤熱部分から出る放射エネルギーは赤色レーザーや発光ダイオード(LED)を光源として使用している従来の光学センサの変位測定を不可能にしています。

Philtecエンジニアによるテストで、検出可能な高温ターゲットから出る光エネルギーが青色波長スペクトルに影響のないことを実証しました。

材料技術

600°C 以上の温度に晒されるセンサプローブと先端は極端な温度に耐用する以下の材料で作られます。

- 溶融石英(水晶)ファイバー
- セラミック接着剤
- 高温合金

アプリケーション

- ガスタービン
- ガラス形成オープン
- 赤熱金属とセラミック
- 高温鋼材加工

お問合せ

青色波長と新種金属の技術の結合が超高温アプリケーションで行われる変位測定を可能にします。より詳しい情報と設計ガイダンスについては、03-3662-8100またはメールsales@sankyointernational.co.jpでお問合せ下さい。

